

地球温暖化対策 -脱炭素社会の実現に向けて- Vol.21

くまもとゼロカーボン行動ブック ～住まい編～が発行されました

県では、「2050年県内CO₂排出実質ゼロ」を目指し、県民に実践していただきたい取り組みをまとめた「くまもとゼロカーボン行動ブック」などを活用した普及啓発に取り組んでいます。

この度、同ブックで紹介している36の取り組みのうち、「住まいのゼロカーボン」に向けて重要な「断熱リフォーム」の必要性、方法やメリットなどをまとめた「くまもとゼロカーボン行動ブック～住まい編～」が発行されました。本冊子は、右記ウェブサイトからダウンロードできます。

住まいの新築、改修、リフォームなどをご検討の際には、ぜひご活用ください。



くまもとゼロカーボン行動ブック～住まい編～



くまもとゼロカーボン行動ブック

〈問い合わせ〉水・環境課 環境保全係 TEL0967 (67) 3176

農作物被害で困っている。誰に聞いたらいいの？～教えてジビエ協力隊 Vol.4～



鳥獣被害対策の3本柱 其二『追い払う・柵で守る』



～ワイヤーメッシュ編～シカ・イノシシから守る

ワイヤーメッシュとは

ワイヤーメッシュは建設用資材の一つで、防獣ネットなどに比べて強度があり、高さもあるのでシカ・イノシシに対して非常に効果的な防護柵です。

どんなワイヤーメッシュを使えばよい？

- 鋼線の太さは5mm以上⇒これより細いと簡単に曲げられる可能性があります。
- 格子は正方形で10cm以下⇒これより大きいとイノシシの幼獣などは入ってしまいます。

ワイヤーメッシュを張るうえでのポイント

- 支柱を2m程度の間隔で地中に十分に打ち込む。(50cm程度)
- 地際に隙間を作らないようU字アンカーなどで固定する。
- 傾斜地や水路・溝などの凹部分にも柵を重ね隙間を作らない。
- 柵の表裏を確認する。縦のワイヤーが外側！

設置後の維持管理

ワイヤーメッシュは張ったら終わりではなく、定期的な点検・メンテナンスが欠かせません。動物は見通しのよい場所を避けるため、柵周辺の草刈りを定期的に行い、破損箇所を見つけたら修繕し、野生鳥獣に『侵入できる』と思わせないことが重要です。

次回は鳥獣被害対策其三『捕獲』です。



侵入防止柵周囲の草刈り例

鳥獣被害に関する質問を募集中です。



こちらから受け付けています

〈問い合わせ〉農政課 林務整備係 TEL0967 (67) 2707